

高松第一高等学校改築基本設計プロポーザルによる最優秀者等選定の講評と経過

1 選定方法

高松第一高等学校改築基本設計業務について、設計者の柔軟かつ高度な設計能力、豊富な経験等が求められることから、プロポーザル方式により設計者の選定を行いました。

参加表明のあった15者について、第1次選考として、会社の実績や担当チームの資格・技術力を評価するとともに、第1次選考で選定した5者から、課題に対する技術提案書の提出を求め、第2次選考として、取組意欲や課題に対する提案等について、有識者から成る選考員によるヒアリングを実施するなど、選考員の多方面に渡る専門的な意見も踏まえ、厳正かつ公平に評価し、以下のとおり最優秀者等を選定したものです。

2 選考結果

最優秀者	株式会社日本設計	237.3点(300点満点)
優秀者	A者	230.4点(同上)
	B者	228.8点(同上)
	C者	223.7点(同上)
	D者	209.8点(同上)

3 総評

いずれの提案者も、各課題に対し、的確な提案を行っていましたが、最優秀者は、「高松第一高等学校の教育目標及び校舎改築基本構想を幅広く踏まえた施設」の提案が特に優れておること等から、総合的に優位であると判断したものです。

4 選定の経緯

年月日	内容
平成26年12月8日(金)	プロポーザル告示 参加表明書等の提出期限:平成26年12月22日(月)
平成27年1月15日(木)	技術提案書等の提出要請 技術提案書等の提出期限:平成27年2月20日(金)
平成27年2月27日(金)	技術提案書提出者へのヒアリング実施 課題1「高松第一高等学校の教育目標、及び校舎改築基本構想を踏まえた施設整備の考え方について」 課題2「県内唯一の市立高校にふさわしい、高松市の教育のシンボルとなるような特色ある施設整備の考え方について」 課題3「事業費・維持管理費のコストを抑制する方策、及び工事中の生徒や周辺住民の負担を軽減する方策について」
平成27年3月16日(月)	最優秀者等の選定

5 選考員

区 分	氏 名	役 職 等
学識経験 (建 築)	西尾 達司	国土交通省四国地方整備局営繕部営繕調査官
学識経験 (建 築)	山口 良士	一般社団法人香川県建築士会
学識経験 (教 育)	白石 幸一	高松第一高等学校PTA顧問 (高松第一高等学校改築基本構想検討懇話会元委員)
学識経験 (教 育)	笠 潤平	香川大学教育学部教授
市職員 (教 育)	伊佐 良士郎	高松市教育委員会 教育局長